

《労働災害発生状況》

1 署別・業種別件数（令和6年分） （ ）内は木建工事 ○内は死亡者数 令和6年9月30日現在

業種別 署別	土木工事		建築工事		設備工事		計		前年同期		全産業		
	件数	(木)	件数	(木)	件数	(木)	件数	(木)	件数	(木)	件数	(木)	
金沢監督署	9	(9)	36		5		(9)	50	(3)	33	④	532	
小松監督署		(3)	13	①	3	①	(3)	16	①	(3)	19	①	171
七尾監督署	1	(2)	12		1		(2)	14	(6)	14	①	86	
穴水監督署	②	(13)	14		8	②	(13)	28	①		8	③	47
計	②	(27)	75	①	17	③	(27)	108	②	(12)	74	⑨	836
前年同期	26	① (12)	30	①	18	②	(12)	74				⑤	1,024

対前年同期比の増減 建設業：74件→108件【34件(45.9%)増加】 全産業：1024件→836件【188件(18.4%)減少】

2 死亡災害事例(令和6年分) 令和6年9月30日現在

No.	発生	業種	年齢	事故の型	発生状況
1	2月 小松	機械器具設置工事業	40代	飛来・落下	改装中の食品スーパーマーケット内において、設置のために搬入した台車上の冷凍用ショーケース(幅1568×高さ1940×奥行900(mm)、質量280kg)の養生テープや不要な掲示物を外すなどの開梱作業をしていたところ、同ショーケースが倒れ、その下敷きになり死亡したものの。
2	4月 金沢	道路貨物運送業	50代	交通事故 (道路)	閑越自動車道上越線下り線「さみずトンネル」内で走行車線に停車中のトラックに走行中のトラックが追突し、追突した側のトラックの運転手が出血性ショックで死亡したものの。
3	4月 金沢	金属製品製造業	20代	飛来・落下	当該事業場工場において、塗装準備作業のため、鉄骨材料(長さ約6m、質量約2t)を天井クレーンを用いて回転させようとしたところ、当該鉄骨材料が落下し、作業に従事していた被災者の頭部が地面との間に挟まれ、死亡したものの。
4	6月 七尾	林業	50代	飛来・落下	森林間伐現場において、被災者が藤の蔓が絡んだ高さ約20mの杉にチェーンソーで追い口を入れたところ、当該杉が縦方向に裂け、裂けて剥離した杉の下敷きになり、死亡したものの。
5	7月 金沢	畜産業	20代	激突	競馬場の本馬場内の練習馬場で競走馬の調教を終え、厩舎へ戻ろうとしていたところ、突然当該競走馬が鋼製スタートゲートに向かって疾走し、衝突する直前で競走馬が右に方向を変えたため、被災者が振り落とされ、当該スタートゲートに激突し、死亡したものの。
6	8月 穴水	その他の事業	70代	高温低温物との接触	被災者は事務所周辺の草刈りを一人で進めていたが、土手付近で倒れているところを発見されたものの。
7	9月 金沢	金属製品製造業	40代	交通事故 (道路)	被災者が北陸自動車道上り線を福井方面へ向かって普通乗用車を運転していたところ、白山IC付近で別の普通乗用車に後方から追突され、前方の貨物自動車に追突したものの。
8	9月 穴水	トンネル建設工事業	50代	崩壊・倒壊	豪雨によりトンネル周囲の地山が崩落する土砂崩れが発生し、被災者は行方不明となっていたが、9月22日の捜索により、倒れたトラックの下敷きになっている状態で発見されたものの、死亡が確認されたものの。
9	9月 穴水	道路建設工事業	70代	激突され	民家屋根上の倒木の撤去作業のため、被災者がドラグ・ショベルでつった倒木の枝払い中に墜落しそうになったため、当該ドラグ・ショベルを動かして助けようとしたところ、当該倒木が被災者に激突したものの。

3 署別・業種別件数（令和5年確定値） （ ）内は木建工事 ○内は死亡者数

業種別 署別	土木工事		建築工事		設備工事		計		前年同期		全産業		
	件数	(木)	件数	(木)	件数	(木)	件数	(木)	件数	(木)	件数	(木)	
金沢監督署	15	(7)	30		13		(7)	58	②	(21)	67	②	916
小松監督署	7	(3)	10	①	6	①	(3)	23		(5)	27	③	335
七尾監督署	8	(6)	8		3		(6)	19		(7)	24		163
穴水監督署	8	① (1)	3		1	①	(1)	12		(6)	20	①	66
計		① (17)	51	①	23	②	(17)	112	②	(39)	138	⑥	1,480
前年同期	①	38	① (39)	84		16	② (39)	138				⑧	2,395

対前年比 建設業：138件→112件【26件(18.8%)減少】 全産業：2,395件→1,480件【915件(38.2%)減少】

4 死傷災害の推移 発生件数欄の上欄（ ）内は死亡者数

事項別	年	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6 速報値
		発生件数	全産業(A)	(15) 1,067	(10) 1,016	(9) 968	(12) 1,153	(15) 1,250	(8) 1,155	(10) 1,158	(7) 1,357	(8) 2,395
建設業(B)	(6) 158		(2) 125	(2) 118	(7) 135	(3) 147	(3) 141	(2) 126	(3) 143	(2) 138	(2) 112	(3) 108
割合(%)	(B)/(A)	14.8	12.3	12.2	11.7	11.8	12.2	10.9	10.5	5.8	7.6	12.9
対前年比(%)	全産業	1.3	▲ 4.8	▲ 4.7	19.1	8.4	▲ 7.6	0.3	17.2	76.5	▲ 38.2	▲ 18.4
	建設業	22.5	▲ 20.9	▲ 5.6	14.4	8.9	▲ 4.1	▲ 10.6	13.5	▲ 3.5	▲ 18.8	45.9